

千葉県連勤労者山岳連盟

第56期（2022年度）57期（2023年度）定時総会報告

作成者 深草 県連理事（岳人あびこ）

- ・日時 2022年3月5日（土） 13:05～15:10
- ・会場 ZOOM 利用によるオンライン総会
- ・司会 鶴田副理事長（ちば山の会）

【議事】

- ・総会資格審査報告 代議員総数 27 名：出席者 24 名、委任状 3 名
審査委員：安彦海外委員長より、総会成立報告
- ・議長・書記選出 議長：吉武理事（かがりび山の会）
書記：深草理事（岳人あびこ）
- ・会長 挨拶

今年度の総会は、コロナ禍の影響を考慮して、理事会の総意により、規約第14条に基づきオンラインでの実施を選択した。オンラインでの総会開催に当たっては、開催手続きに関する多数のご意見を頂いた。今後実施後の反省も踏まえ、規約改正を視野に入れてオンライン総会の運営に関する検討を進めたい。

コロナ禍の影響の中で、会活動はどうなるのか、山行はどうするのか、今までとは違った厳しい選択が必要になっている。千葉県連盟にとって重要な時期に開催される総会となる。この難局を、会員の皆さんと協力して、乗り切っていきたいと考える。

長年不在だった理事長に昨年度から、野田さんに就任していただいた。なれないポジションで大変だったと思うが、引き続きのご支援、ご協力をお願いしたい。

第1号議案 第54期、第55期 活動報告（ ）は報告者名

千葉県連活動実績（野田理事長）＜議案書 p.3＞

野田理事長が、2年間の千葉県連活動実績全般について議案書に基づき報告した。

各委員会活動報告

各委員会委員長が、第54期、55期の委員会活動報告を議案書に基づき報告した。

- ①事務局活動報告（広木会長）＜議案書 p.4＞
- ②組織委員会（野田委員長）＜議案書 p.6、資料集 p.1～7＞
- ③教育遭難対策委員会（伊東委員長）＜議案書 p.7＞
- ④ハイキング委員会（田中委員長）＜議案書 p.8＞
- ⑤自然保護委員会（委員長不在により理事長が代行）＜議案書 p.9＞
- ⑥女性性委員会（広木会長）＜議案書 p.10＞
- ⑦機関紙委員会（広木会長）＜議案書 p.11＞
- ⑧海外委員会（安彦委員長）＜議案書 p.12＞

第2号議案 第55期 収支決算報告と会計監査報告

1. 収支決算報告（小林会計担当）＜議案書 p.13＞
 - ・収入：新特別基金還元金を予算時見込んでいなかったが従来通り県連会計に入金があったので予算対比増になった。他は予算通りであった。
 - ・支出：コロナ禍の影響で委員会活動が少なかった為、関連支出は予算より大幅に減少した。事務所のプリンターが故障で購入した。
2. 財産目録（資産内訳）（小林会計担当）＜議案書 p.14＞

繰越金・積立金・の報告があった。
3. 会計監査報告（種蔵さん：松戸山の会）＜議案書 p.14＞
 - ・監査日 2021年02月05日
 - ・監査人 種蔵大介さん（松戸山の会）、廣谷明子さん（松戸山の会）
 - ・結果 公正かつ適正であることを認める。
 - ・要望事項 使用目的の無い積立金については一般会計に組み込むべきである。

＜質疑応答＞ 第1号議案、第2号議案について

- ・船橋勤労者山の会 橋本さんから以下の2件の質問があった。

質疑①：登山時報の無料配布について、全国連はどの様に進めているのか？

回答：全国連ではメディア局、機関誌委員会で検討を行っている。（野田理事長）

「登山時報は廃刊し、新たな機関誌、紙媒体での発行を検討する。
紙媒体と電子媒体で届けるようにする。」

添付資料：日本勤労者山岳連盟 第35回総会 議案書抜粋参照

質疑②：県連事務所のインターネット環境を知りたい。

W I F I が使用出来ればよいが…。

回答：事務所のパソコンでインターネット使用可能であるが、現在は無線での使用は出来ない。今後の検討事項である。（広木会長）

第3号議案 第56期、第57期 活動方針（案）説明 （ ）は説明者名

千葉県連活動方針案（野田理事長）＜議案書 p.15～17＞

第56期、第57期の千葉県連の活動方針（案）を、議案書に基づき説明した。

各委員会活動方針案

各委員会委員長が、第56期、第57期の委員会活動方針（案）を議案書に基づき説明した。

- ①事務局活動 （広木会長）＜議案書 p.18＞
- ②組織委員会 （野田委員長）＜議案書 p.20＞
- ③教育遭難対策委員会（伊東委員長）＜議案書 p.21＞
- ④自然保護委員会 （菅井委員長）＜議案書 p.22＞
- ⑤ハイキング委員会 （田中委員長）＜議案書 p.23＞
- ⑥女性委員会 （広木会長）＜議案書 p.24＞
- ⑦機関紙委員会 （広木会長）＜議案書 p.25＞
- ⑧海外委員会 （安彦委員長）＜議案書 p.26＞

- ⑨ホームページ部会（伊東春正さん：かがりび山の会）＜議案書 p.5、p.19＞
ホームページ部会は、54期・55期の活動報告と56期・57期の活動方針(案)を一括で行った。

第4号議案 第56期予算(案)説明（小林会計担当）＜議案書 p.27＞

- ・収入：会員数の減少が見込まれる為、会費が減少する。
しかし、前期繰越金が多いことにより総収入増額となる。
- ・支出：定常支出以外に、①関東ブロック主催行事、②50周年記念誌発行費、③山の日講演会経費、④房総の山復興プロジェクト経費などを見込む。
前期繰越金残額を40万円予備費に入れた。

＜質疑応答＞ 第3号議案と4号議案について

以下の2件の質問と1件の発言があった。

質疑①：他の会の会報についての企画を知りたい。県連で会報に関する情報交換をする場を持つことは可能か？（船橋勤労者山の会 橋本さん）

回答：県連の役割の一環として是非情報交換の場を持ちたい。各会の会報の発行形態についてZoom会議等を活用し情報交換の場を計画する。（広木会長）

質疑②：会員減、高齢化の問題等に対する加盟各会の活動の情報交流をスムーズに行うためのシステム造りを県連にお願いしたい。（かがりび山の会吉川さん）

回答：会への情報展開は県連の重要な役割と考えている。今年度から理事会にお願いして、各会間の情報交換の場を設けている。以前より会間情報が伝わりやすくなったと考えている。理事の方々には理事会において他の会が発言された情報を自会で展開して頂く事をお願いしたい。組織委員会においても各会の情報を収集しているので展開したいと考えている。（野田理事長）

意見：広木会長、野田理事長体制となり県連活動が見える化しているので県連の現状は十分理解している。協力できる事は協力する所存である。
しかし、会員減少傾向にある現状において当会も会員数維持に苦心している。このような状況下で県連から役が回ってくるが、対応できる余力が無い事も事実である。加盟各会の会員あつての県連である事を踏まえ、当会のおかれる現状についてご理解を頂きたい。（岳人あびこ 高橋さん）

第5号議案 第56期、第57期 役員選出 ＜議案書 p.28＞

役員選出について

議長から役員立候補者を求めるが立候補者無しの為、県連役員会から以下の提案があった。（野田理事長）

- ・顧問：古瀬健さん（千葉こまくさハイキングクラブ）退任
- ・他の役員は55期より留任

全国連盟理事及び労山基金運営委員の紹介（野田理事長）

全国連盟理事2名、労山基金運営委員1名の紹介がされた。

<第1号議案～第5号議案の採択>

議案の賛否は、3月12日（土）迄に各会より役員会宛のメール連絡によって行う。
賛成過半数を以て議案の可決とする。

結果は、3月17日（木）開催の理事会にて報告する。（野田理事長）

- ・総会議事終了 議長・書記解任

<連絡>

1. 全国連「積雪期登山事故防止の取り組みについて、緊急アピール！」について
（石川全国連理事）
 - ・積雪期登山については、緊急アピールの内容を各会で理解共有して事故を起こさない様にしてほしい
 - ・緊急アピールについては各会に昨日配信済み（野田理事長）
2. 房総の山復興プロジェクトについて（広木会長）
 - ・登山道復旧作業については、県内山岳3団体で分担して行う方向で進んでいる。
 - ・田中ハイキング委員長の経験を基に県連として活動方針を決めたいと考えている。
 - ・2022年8月11日「山の日」の『田中陽希講演会』について『ちばニュース』2月号と3月号に掲載済み。申し込み手続きなどを決定次第案内するので、参加したい会員が参加出来ない事のない様に対応していただきたい。

閉会の挨拶（野田理事長）

- ・活発な内容の濃い総会を開催出来た事に感謝します。今後とも県連の活動に協力を宜しくお願いします。
- ・今後オンラインによる会合は避けられないので、会合開催の改善を図りたいと考えている。

以上

第56期・57期がスタートしました。

オンラインでの総会は初めてでしたが、役員会、理事会が事前準備を万全にして実施出来ました。何より、この情勢下で総会を実施する事について、各会の理解と最大の協力をいただいた事が総会成功の大きな力になりました。

今、会運営で最大の問題である、会員減少や会員の高齢化について、会と県連盟が一体となって取り組む事が緊急の課題です。本来の総会は、これらについて現状報告や意見交換の場であります。しかし、オンラインでの実施でもあり、会と代議員の意見が十分に反映されたとは思えない面もあります。

会運営や県連盟活動についての厳しい意見や要望を県連盟へお寄せ下さい。
一緒になって考え行動して克服していきたいと思えます。

——県連盟役員会——